

オーケストラ演奏楽しむ

長浜 お年寄りらうっとり



オーケストラの演奏に聴き入るお年寄りら—長浜市の錦織公民館で

名古屋市民管弦楽団が「錦織公民館で開かれた」
二十七日、長浜市錦織町「おしゃべり会」サロン

錦織に響くモーツァルト

名古屋市民管弦楽団「おしゃべり会」に



道力ある演奏に聞き入るお年寄りたち

長浜市錦織町のサロン「おしゃべり会」に27日、名古屋市民管弦楽団が訪れ、お年寄りたちが臨場感あふれるクラシックや名曲を楽しんだ。

同楽団は来年50周年を迎え、団員100人を擁する

フルオーケストラメンバーは20〜70歳で職業、出身地などさまさま。国外やオペラ公演なども行っている。

同町で福祉委員の宮田広之さんと楽団の指揮者・加藤浩さんは会社の同僚。加藤さんが「ボランティア活

に招かれ、本格的なオーケストラ演奏でお年寄りらを楽しませた。おしゃべり会は、地区のお年寄りの生きがいづくりにと二カ月に一回程

度サロンを開き、ゲームや手作り料理などを楽しんでいる。同地区で福祉常任委員を務める宮田広之さん(63)と楽団の指揮者加藤浩さん(43)が会社の同僚という縁で演奏会が実現した。団員ら二十六人はヨハンシュトラウスの「美しい青きドナウ」やモーツ

ァルトの「交響曲第四十一番」などを演奏。お年寄りたちは、臨場感あふれる調べに聴き入っていた。(富田伸生)

滋賀新聞(夕刊)より

動の一助になれば」とメンバー26人を率い、同公民館を訪問した。この日はモーツァルトの「交響曲第四番」やワルツ「美しい青きドナウ」恋は水色」など6曲を披露。最後にお年寄りたちと「琵琶湖周航の歌」と「鉄道唱歌」を合唱し、楽しいひとときを送った。

中日新聞より